

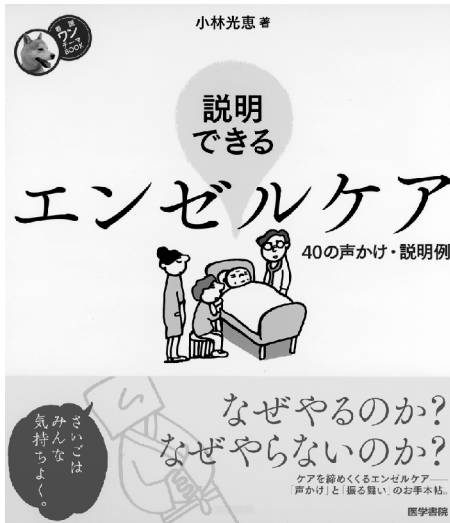
《看護ワンテーマブック BOOK》

説明できるエンゼルケア

40 の声かけ・説明事例

小林光恵 著

定価1890円(本体1800円+税5%)
医学書院 ☎03-3817-5657



小林光恵さんのこれまでの著書を契機に、日本中の看護師がいつせいに、それまでのエンゼルケアを見直しました。エンゼルメイクセットを買い揃え、講習会を開催し、ご家族に満足いただけるエンゼルケアへと質が向上してきていると思われまふ。

でも、そのエンゼルケアは、狭義の「エンゼルメイク」に偏重してはいないでしょうか? メイクだけでよいのなら、エンゼルケアを「看護師が行なう意味」は弱まってしまいます。私は、昨今のエンゼルケアの躍進を、多少冷ややかな目をもって眺めていました。

本書には、臨終の告知直後からお見送りまで、看護師がなすべき具体的な声かけ・説明が「セリフ」として記述されています。硬直・におい・肌色などの身体変化や、清拭や綿つめなどの方法も具体的に書かれていますので、この本さえあれば、エンゼルケアの一連の流れがつぶさにわかります。また、家族からのよくある質問にも、もれなく対応しています。精読すれば、明日から自信をもってケアに臨めるでしょう。もちろん、エンゼルメイクについても書かれています。

しかし、この本の最大の特徴は、「身体変化」や「ケアを行なう／行なわない」の「根拠」が、丁寧にとてもわかりやすく記述されていることです。たぐさんの討議、失敗経験からの学び、遺体管理学の専門家からの貴重な教えも加味され、家族の気持ちに配慮した最善の声かけ・説明、手技を導いています。

普段、エンゼルケアについて仲間と語り合ったり振り返ったりする機会は、なかなかありません。著者をはじめ、多職種で議論し尽くした結晶が紹介されており、私は「得したなあ」と感じました。

「看護師が行なう」とこの意味
身近な方を看取る機会が少ない現代で

す。茶毘に付すまでの身体の変化や、昨今の葬儀事情を熟知した家族は多くありません。遺体に接したり葬儀を出したりするのは今回が初めて、不安とわからないことだらけ……ということがほとんど。ケアに当たる看護師自身もまた同じではないでしょうか。そのこと自体は、仕方ありません。でも、「家族」も支える専門職として、死後の身体の変化や葬儀事情にも、自信をもって確かな説明をしたいものです。死後のケアや説明に、不安や迷いを少しでも感じたら、是非この本をご一読ください。きっと、「そうそう、このこと知ってたかったの」という答えがびつしりと詰まっています。

在宅ホスピスに従事してまだ未熟な私ですが、「エンゼルケアは、グリーフケアの一部」と心して行なっています。40の声かけ・説明と同時に、ありし日の故人を偲び、ご家族の介護を労って、想い出を語り合うグリーフケアの意味を含んだエンゼルケアができればいいな、と思います。看護師と共に行なったエンゼルケアが、家族にとって、新たな生活を歩み出す「より所」となり得るよう祈りながら……。それこそが、看護師による本当のエンゼルケアであると信じています。